

平成26年度 第1回宇都宮市社会福祉審議会障がい者福祉専門分科会 会議録

■日時 平成26年10月21日（火）午前10時～11時30分

■場所 宇都宮市総合福祉センター 視聴覚室（4F）

■出席者

1 委員

池本委員，稲川委員，瓜生委員，興野委員，清水委員，鈴木委員，並木委員，檜山委員，福田委員，
麦倉委員，

（五十音順）

※欠席 齋藤委員，中澤委員，橋本委員

2 事務局

障がい福祉課長，障がい福祉課長補佐，障がい福祉課係長，障がい福祉課担当者

3 傍聴者

なし

■会議経過

1 開会

2 あいさつ

3 委員・事務局紹介

4 分科会長選出

宇都宮市社会福祉審議会条例第6条第2項に基づき，麦倉委員を会長に選出。

5 職務代理人指名選出

宇都宮市社会福祉審議会条例第6条第4項に基づき，池本委員を職務代理人に選出。

6 議事

（1）第4期宇都宮市障がい福祉サービス計画の策定について（資料1）

委員

- ・ 第1回専門分科会の開催は，8月頃を予定していたと思うが，10月となったのはなぜか。

事務局

- ・ 当初，第1回自立支援協議会と同時期の開催を予定していたが，自立支援協議会での意見を

踏まえて、「第4期宇都宮市障がい福祉サービス計画」策定に向けた現状及び課題の総括をまとめ、専門分科会に提示させていただくこととしたため、10月の開催となった。

(2) 第4期宇都宮市障がい福祉サービス計画の策定に向けた現状及び課題の総括について（資料2）

委員

- ・ 施設入所者の地域生活への移行については、病院から地域移行した方は含まれているのか。また、精神障がい者の入所施設というのは具体的にどのような施設のことか。

事務局

- ・ 施設入所者は、障がい福祉サービスにおける「施設入所支援」というサービスを受給している方をいい、病院からの地域移行は含まない。

委員

- ・ 第3期計画における数値目標について、達成率が100%を超える目標値や60%代の目標値があるが、市の取組が評価できる目標値もある一方で、見込みが甘かった目標値があるということもできる。第4期計画において、PDCAサイクルを取り入れて、計画途中の目標の修正ということもありうるのか。

事務局

- ・ 100%を超えている目標は、一般就労に関する目標であるが、一般就労への移行者が目標値を超えて、増加していくことは好ましいことと考えている。

事務局

- ・ 「就労移行支援」事業所が減少し、「就労継続支援A型」事業所が増加しているが、行政とは離れたところで、民間の事業所が何に力を入れていくかという事業の経営も含めた問題になってくるところであり、事業所の主体性に委ねられているところが大きいので、その点について、目標を上方または下方修正するということではないと考えている。

委員

- ・ 就労移行の数値目標について、数値が高くなればよいということではない。「就労移行支援」と「就労継続支援A型」のサービスについて、保護者の意向と事業所側の意向にミスマッチがあるので、それぞれの目標が90%以上となるような目標設定していくことが重要である。これまでは、国の指針に合わせるだけの目標設定になっているので、宇都宮市の実情を踏まえた目標設定になるようにしないと意味がない。

委員

- ・ 国や市が一般就労への移行者を増やす目標設定していることは理解できるが、保護者の立場としては働いている本人が生活を維持し続けられるかが重要だと考えているので、一度就労移行した後のフォローについては、どのように考えているのか伺いたい。

事務局

- ・ 一般就労してから1年以内の離職率が高いことを踏まえ、半年間については、事業所がフォローし、半年から1年間については、今年度からの新規事業として職場定着支援事業を実施し、フォローアップする体制をとっている。

委員

- ・ 精神障がい者の就労率は、かなり低い状況にあるので、精神障がい者に対する職場定着支援は十分に留意してほしい。

委員

- ・ 地域生活への移行について、聴覚障がい者の意向は踏まえているのか。また、聴覚障がい者は、地域に移行できても普段の生活の中で手話の問題がある。さらに、施設に入所している聴覚障がい者においても、施設職員が手話などができるかという問題があるが、その点は考慮されているのか。

事務局

- ・ アンケート調査や関係団体との意見交換を踏まえており、聴覚障がい者の意向も加味しているが、障がい種別ごとの個別の分析はできていない。

委員

- ・ 利用者に対するアンケート調査において、地域生活への移行に必要な支援として、「経済的な負担の軽減」が高い割合になっているが、障がい福祉サービス等を受給しながら、生活保護を受給されている方はどのくらいいるか、把握しているのか。

事務局

- ・ 現在、障がい福祉課において、新システムの稼働準備を進めており、新システムが稼働されれば、生活保護受給者の人数や低所得者の人数等を把握できるが、現時点では把握できていない。

委員

- ・ 障がい福祉サービスの自己負担軽減や手当等のあらゆる策を講じているにも関わらず、「経済的な負担の軽減」が高いことについては、重く受け止めなくてはならない。そして、生活保護受給者の方がどのくらいいるのかということ把握し、市の福祉施策全体として今後の方向性を示す必要がある。また、事業所に対するアンケートにおいて、事業運営上の課題として、「人材の確保・育成」が高い割合になっているが、この点、市はどのような認識か。

事務局

- ・ 人材の確保・育成については、報酬単価の問題や、専門的な知識が必要になることが課題としてある。

委員

- ・ 専門性の高い知識が求められるが、低い報酬というのが大きな問題である。

会長

- ・ 報酬単価の問題、そして制度が変わるたびに必要となる資格が変わることで、新たに研修等の受講が必要となるが、それらの資格を得るための養成機関が少ないという問題がある。養成機関の拡充を今後進めていく必要がある。

事務局

- ・ 専門的な知識を得るための養成機関の拡充は、県との役割分担のなかで進めていく。

委員

- ・ 限られた予算のなかで、数値目標をどのように設定するのかは重要な問題であるが、この点、現状とのミスマッチを是正するにはどうすべきか、議論が必要である。例えば、地域生活への移行については、施設から地域へ移行していくための基盤整備の具体的な取組策が必要である。

(3) 数値目標設定及び目標達成に向けた取組について（資料3）

委員

- ・ 地域生活支援拠点等の整備について、面的な整備または多機能拠点の整備の大きく2つの方法があると考えられるが、宇都宮市は面的な整備を考えているということでのよいのか。

事務局

- ・ 本市においては、基幹相談支援センターを中核として、グループホームや相談支援事業所等の既存の地域資源を活用し、連携させていく面的な整備を考えている。

委員

- ・ 地域生活への移行について、病院以外の精神障がい者が入所できるグループホームがない。病院内で入院から病院のグループホームに移っただけでは、地域移行とはいえないのではないのか。

会長

- ・ 別紙9において、施設入所者の削減は、新規の施設入所者は加味した目標設定になっているのか。

事務局

- ・ 別紙8の地域移行者数は、現在入所している施設入所者の地域生活への移行についての目標であり、別紙9の施設入所者の削減は、新規の施設入所者も加味した目標になっている。

委員

- ・ 地域移行とは、具体的に何を指すのか。グループホームは地域であって、従来からある入所施設は施設ということのように見受けられるが、現在、入所施設を運営している法人が同じ敷地内にグループホームを設ければ、それは入所施設ではないのか。

事務局

- ・ 施設整備にあたっては、入所施設を運営する法人が、同じ敷地内にグループホームを運営することはできないことになっている。

委員

- ・ 地域移行の考え方として、大規模施設を解体して、地域の中のグループ施設（10人程度の小規模な施設）に移行し、アットホームなサービスを提供するという流れになっている。
- ・ 就労移行支援事業の利用者数について、6割以上の増加という目標は、かなり高い設定となっているが、目標達成のポイントは支援内容である。現在、他県で「学びの作業所」という発想がでてきており、これは、高等部の延長で、専攻課というものを作るイメージである。対人関係、健康など、就労だけでなく、あらゆる問題に対応するような学習機能をもつものである。すぐに就労するというのではなく、障がいのある人だからこそ、20歳くらいまで学んだほうがよいという考え方に基づくものであり、就労に結び付きやすいのではないかと。市が事業所に対して啓発するのか分からないが、枠組みのようなものがあったらよい。数値目標達成とは異なる考え方であるが、市ができる取組を検討してほしい。

委員

- ・ 娘が、市営住宅を申し込んだところ、古くて汚い部屋しか空いていなかった。障がいのある方については、明るくてスペース広い部屋を確保できるよう努めてほしい。

委員

- ・ 各数値目標を見ると、提供体制の充実がないままに作られた目標のように感じられ、机上の空論という見方を否めない。

委員

- ・ 今回のサービス計画においては、PDCAサイクルを盛り込むということで理解してよいのか。

事務局

- ・ PDCAサイクルについては、盛り込む予定である。

7 その他

第2回宇都宮市社会福祉審議会障がい者福祉専門分科会は、12月下旬に開催予定。